

「林野庁メールマガジン」

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成 18 年 3 月 20 日 第 5 号

C O N T E N T S

1 メッセージ（林野庁の紹介）

【1】『林野庁とはこんなところ』（企画課長）

2 当庁の動き

【1】国連森林フォーラム第6回会合（U N F F 6）の結果概要について

【2】林政審議会施策部会の概要について

3 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

【2】第2回「企業の森林整備活動に関する検討会」の開催について

4 その他に関する情報（イベント情報等）

【1】第4回「森の“聞き書き甲子園”」フォーラム

イベント情報

【2】日本森林学会・日本木材学会合同シンポジウム

【3】第4回100年の森づくりフォーラム

【4】日本の松原再生シンポジウム

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

## 1 メッセージ

『林野庁とはこんなところ』の5回目のご紹介は、林野庁林政部企画課です。企画（きかく）課は、森林や林業をよりわかりやすく知ってもらうためや、いろいろな調査をしたものをまとめた「森林・林業白書」という冊子を作っています。ぜひみなさんも読んでみてください。

また、企画課は森づくりに必要な決まりを考えたり、林業でがんばっている方を金融・税制面でサポートしたりしているところです。

今日は、そんな企画課を取りまとめている岡田（おかだ）企画課長のメッセージをご紹介します。

企画課長の岡田です。森林・林業の今の状況とこれからの姿を皆さんにどうすればよくわかっていただけるかを考えるのが私の大きな仕事の一つです。

日本の山では、戦後の復興、経済成長を支えるため、たくさんの木が植えられ、育てられてきました。資源に乏しい日本で森林資源は、先人の方が造ってきてくれた私たちの大きな財産です。また、森林は、国土を守り、水をはぐくみ、さらに、空気中の二酸化炭素を木の中に閉じこめ地球温暖化を防ぐというすばらしい役割を果たしています。

この貴重な財産を活かすために、皆さんそれぞれの立場でできることがたくさんあると思っています。

たとえば、国産材を使っていただくことです。それで得られる収入で林業に携わる人たちが再び木を植え、手入れの作業を行うことになり、森林の持つ様々な働きが高まります。

また、森林づくりに直接参加することや、緑の募金など森林づくり活動を支援することも大事なことと思っています。

「今、手を打てば」という思いを現実のものにしていきたいと考えています。

## 2 当庁の動き

### 【1】国連森林フォーラム第6回会合（UNFF6）の結果概要について

2月13日から24日まで国連本部（ニューヨーク）において、100か国以上が参加し、国連森林フォーラム第6回会合（UNFF6）が開催されました。

今会合においては、2015年までに法的拘束力を伴わない形で世界の持続可能な森林経営を推進していくための方策を行っていくとする国際的な枠組みが合意されました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-3gatu/0301unff6.html>

## 【２】林政審議会施策部会の概要について

３月６日「平成１７年度森林及び林業の動向（第１部森林及び林業の動向、第２部森林及び林業施策）」(案)等に関し、記述内容等について論議意見交換が行われました。

植林等の森林づくりを行ってきた世代から、次の世代に森林整備、管理が引き継がれつつある中で、国土保全等森林の価値が正確に評価されることが重要であったり、シカ被害は、森林、林業のみではなく、山村での生活にも深刻な影響が出ていることを考慮すべきなど、他にも活発な意見交換がありました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-3gatu/0307seisakubukai.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

## ３ 緑化に関する情報

### 【１】森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくりが活発に行われています。

国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

### 【２】第２回「企業の森林整備活動に関する検討会」の開催について

林野庁では、企業による森林整備活動を促進するため、本年２月に有識者等からなる「企業の森林整備活動に関する検討会」を設置し５月を目途に報告書を取りまとめることとしているところです。３月１０日に第２回目の検討会を開催し、報告書作成へ向けての主要論点について検討を行いました。

概要及び配付資料等については、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-3gatu/0313dai2kaikigyoku.html>

#### 4 その他の情報（イベント情報等）

##### 【1】第4回「森の“聞き書き甲子園”」フォーラム

具体的内容 高校生100人が、東京での研修を経て「森の名手・名人」100人に「聞き書き」を行いました。

今回のフォーラムは、その成果の発表の場として、「森の名手・名人」と高校生の代表を招き、阿川佐和子氏、塩野米松氏を交えて「聞き書き」の体験談やエピソード等について、一般の方々を対象にお話します。

開催日 平成18年3月26日（日） 12:45～16:00  
場 所 江戸東京博物館ホール  
申込先 森の“聞き書き甲子園”実行委員会事務局  
〒162-0065 東京都新宿区住吉町1-20 角張ビル4F  
NPO 法人樹木・環境ネットワーク協会内 TEL 03-5366-0766

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.foxfire-japan.com/>

#### イベント情報

##### 【2】日本森林学会・日本木材学会合同シンポジウム

具体的内容 「森と木と環境～森林をまもり、国産材を利用すること～」をテーマに森林等を健全に造成・保全するため並びに森林や木材を適正に使用し、議論を深めるためのシンポジウムを開催します。

環境との関わりを学びながら、国産材の良さを再認識するとともに利用の推進を図るためシンポジウムを開催します。

開催日 平成18年4月2日（日）  
場 所 東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂  
主 催 日本森林学会日本木材学会シンポジウム実行委員会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.jwrs.org/events/sinringakkaisymp20060314.pdf>

### 【３】第４回１００年の森づくりフォーラム

具体的内容 「まちの中に森を創ろう」という趣旨で始まったフォーラムの４回目。これまでの提案書の内容を再確認し、１００年の森候補地の確保に向けてのＰＲと１００年の森を創るための理論と技術についてのフォーラムを開催します。

開催日 平成１８年４月２３日（日）  
場 所 ドルフィンホール（鹿児島市）  
主 催 特定非営利活動法人 緑のまちづくり交流協会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.zaidan-kyusyu.jp/midori/>

### 【４】日本の松原再生シンポジウム

具体的内容 「松原と日本文化を考える」をテーマにし、松原の歴史を振り返りながら、パネルディスカッションを開催します。人の生活と深くかかわってきながら、減少しつつある松原を再生することの重要性を呼びかけます。

開催日 平成１８年４月２８日（金）  
場 所 東京大学農学部弥生講堂（東京都文京区）  
主 催 財団法人日本緑化センター

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.pinerescue.jp/torikumi/event/index.html>

### 編集後記

全国で桜の便りが届き始め、街に流れる音楽も春や桜にかかわる歌が聞こえようになりました。みなさんもそんな歌を聞くとあの時期はこんな春だったなあと思いつくことはありませんか？

今年掲げたいいくつかの目標が、早くも志半ばで達成できなくなった私は、新年度こそはがんばろうと気持ちを新たにしています。４月からは新しい出会いで、さらに人脈という枝を広げていきたいと思っています。

ご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望、または、転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

#### ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものが 있습니다。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。

#### 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1

林野庁 広報室 TEL 03 - 3501 - 3967

E - mail : kouhou\_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

#### メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記よりご登録いただいたメールアドレスを入力し

て、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>